



発行日：平成 25 年 11 月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

第 13 回山部会WGを開催しました！

10月21日（月曜日）に第13回山部会WGが開催されました。
今回のWGでは、山村再生担い手づくり事例集、矢作川流域圏森づくりガイドライン、矢作川流域圏木づくりガイドラインの3つのプロジェクトについて話し合いました。



日時：平成 25 年 10 月 21 日(月) 13:30～15:30
場所：豊田市職員会館 3F 第1部室
参加者：18名（事務局含む）

◆主な会議内容

1. 山村再生担い手づくり事例集について



山村再生担い手づくり事例集の作成にあたり、取材を企画しておりましたが、9月末までを募集期間として、15名の方々が集まりました。参加者と取材先のマッチングを10月7日に行いました。年内をめどに取材を終える予定です。

11月26日に中間報告会を実施して、取材の進め方や取材結果を情報共有します。年明けにふりかえりを行います。引き続き取材者を募集します。ご興味がおありの方はぜひご参加ください。



2. 矢作川流域圏森づくりガイドラインについて



愛知県本庁林務課、豊田加茂事務所、西三河事務所を訪問しました。前回のWGから今回までに、新たに5か所（林野庁中部管理名古屋事務所、長野県本庁林務課、岐阜県本庁林務課、愛知県水地盤環境課）に趣旨説明を目的とした訪問をしました。

森づくりWGは平日の開催とし、会場は4地区を持ち回りすることで、すすめていきます。



3. 矢作川流域圏木づくりガイドラインについて



矢作川流域圏木づくりガイドラインは、その着地点とみなさんのイメージを情報共有しました。特に「矢作川デイズ 木づくりガイドライン ライフステージアタック表（イメージ案）」を参考に、ガイドラインの内容として、参加者皆さんが大事にしたい事柄について意見として出すこととなりました。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 後藤
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト（yahagigawa@ijinet.or.jp）までお送りください。



◆話し合いでの主な意見

●山村再生担い手づくり事例集について

山村再生担い手づくり事例集の取材調査がいよいよはじまります。
9月末までに集まった15名の方々に加え、今回、WGに参加者した方からも参加したいとの声があがりました。

引き続き取材者を募集しています。特に、海部会や川部会などの分野が異なる人の参加が大変よいとの意見もありました。

11月26日に予定されている中間報告では、取材結果を情報共有し、その後の取材方法などについて、確認を行う予定です。



●矢作川流域圏森づくりガイドラインについて

森づくりガイドラインの策定は流域圏の行政が関与するため、現在、ガイドラインの趣旨説明と協力要請を行っています。愛知県への訪問が完了しており、今後、岐阜県、長野県等へ出向き、今年中には関係行政を訪問しきる予定です。

訪問した関係団体) 国: 林野庁中部森林管理局名古屋事務所 / 愛知県農林水産部 農林基盤担当局林務課、環境部水地盤環境課 / 愛知県出先事務所: 豊田加茂農林水産事務所林務課、西三河農林水産事務所林務課 / 岐阜県林政部森林整備課 / 長野県林務部森林政策課 / 矢作川水源基金

出た意見

- ガイドラインはカタログを作るイメージ、社会的にも全体像をだれもみたことがないので作る意義が大きいと考えている。(蔵治)
- データのアップデートのタイミングを考慮してとりまとめていけるとよい。(城田)
- 木材搬出量の把握は容易ではない。間伐材は補助事業を使っているので申請書を見ると把握が可能と考えられる。(原田)
- ガイドラインとしてどこまでまとめることが可能か、事務局の考えもお聞きしたい。(蔵治)



●矢作川流域圏木づくりガイドラインについて

木づくりガイドラインについては、ライフステージ別に整理したアタック表をもとに、次回の山部会WGで話し合うこととなりました。

次回のWGまでにメンバーそれぞれから、アタック表のどの部分を大切にしてガイドラインを作成していきたいか、考えてくることとなりました。



●その他(会の持続的な運営を目指して)

各ワーキングが動き出していて一定の進捗が確認できているものの、今後、よりよいものを作ろうとすると予算的にも人員的にも一定の限界があるとの指摘があり、来年度以降の会の運営についても考えていく必要があるとの認識が共有されました。

出た意見

- 事務局としての考えも今後聞きながら進めていきたい。(蔵治)
- 任意団体をつくって助成金をとることも可能。(黒田)
 - 助成事業の結成そのものが成果と考えることもできる。(丹羽)



今後のスケジュール(予定)と情報提供



次回のWGを11月9日(土)に恵那市にて開催する予定です。
第6回いい川・いい川づくりワークショップが11月2日・3日に開催されます。

